

組合ビジョン・中期計画策定 大阪府テントシート工業組合

大阪府テントシート工業組合は、大阪府内のテントシートの製造、加工、施工、販売を生業とする組合員で構成されており、テントシートに関連する部品の共同購買事業を行なっています。

設立は、1964年と歴史のある組合であります。今まで一度も、“組合のこれから”についての検証を行なっていなかったことから、平成29年度組合等事業向上支援事業における「組合ビジョン・中期計画策定」に取り組み、組合員と専門家・中央会指導員を交えた検討会を5回に亘り開催致しました。

検討会では、組合を取り巻く環境分析やSWOT分析等を行い、「組合ビジョン・中期計画」が完成致しました。組合員からは、「我々が進むべき方向性が明らかになった」と好評を得ました。

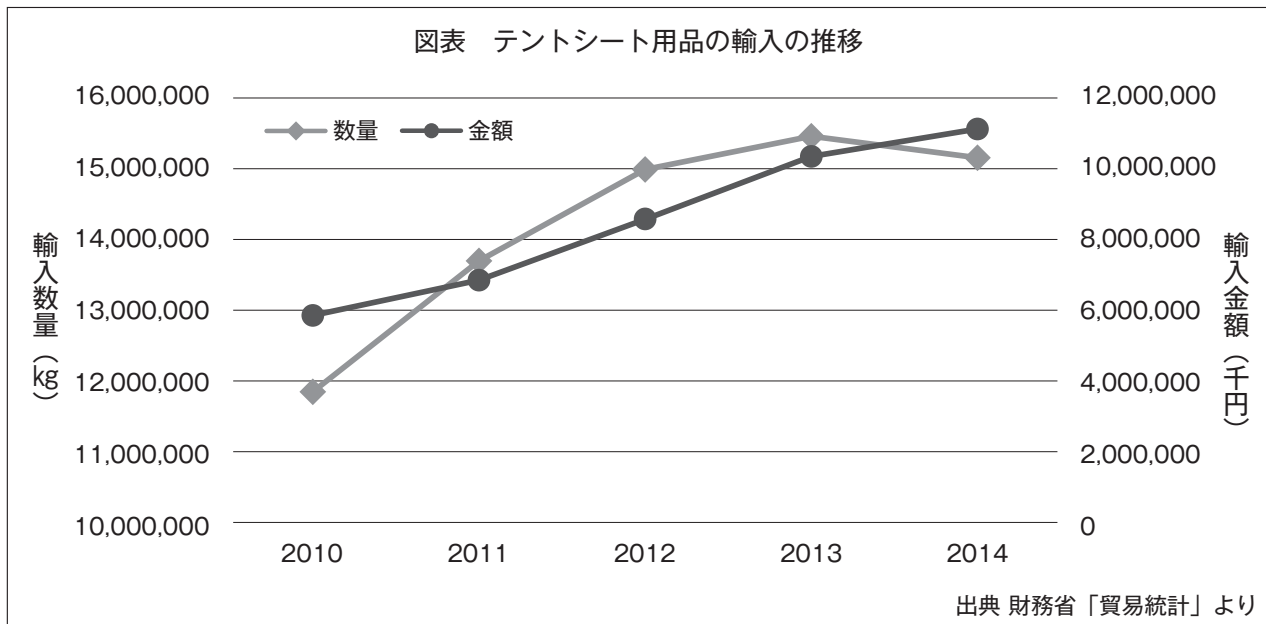
【当組合を取り巻く環境】

〈輸入品の増加〉

テントシート用品の輸入額が増加しており、テントシート用品の輸入数量は2010年から2014年にかけて倍増しています。キャンプ用テントなどの汎用的な製品は廉価な輸入品との価格競争により、日本製品は淘汰されています。

海外メーカーの技術力も向上していることから、国内メーカーは新たな市場創造や、さらなる付加価値・技術力の創出が求められています。

図表 テントシート用品の輸入の推移



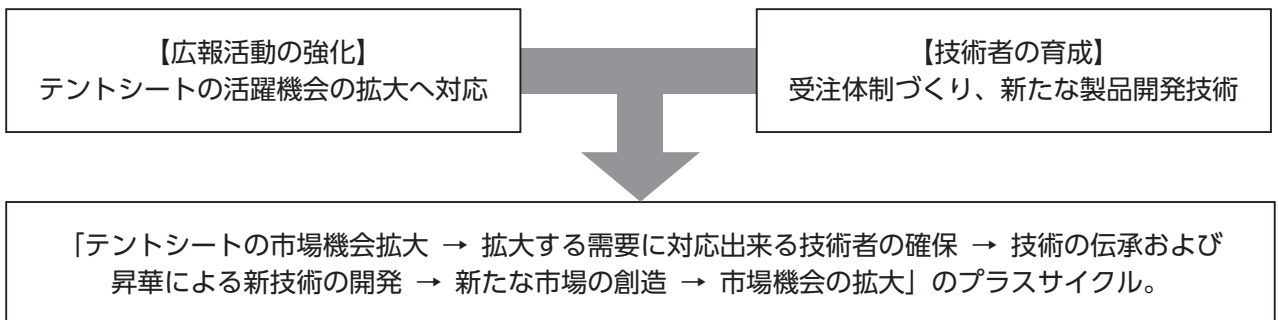
【当組合が抱える問題・課題】

問題点	状況
参加組合員の固定化	組合活動・例会等に参加する組合員が固定化している。
受動的な立ち位置	テントシートが建築現場で採用されるかどうかは、建築会社次第の側面が強い。
後継者・技術者不足	後継者や技術者が不足しており、若者の創業も少ない。
認知度の低さ	テントシートの用途がエンドユーザーに理解されていない。

課 題	内 容
技術者の育成	若い技術者を増やし、育成する。そのために、目指してもらえ業界にする。
広報力の強化	エンドユーザーや大手広告代理店、ゼネコンに対して、テントシートの用途・有用性を理解いただき、テントシートの採用機会を増やす。また、一般の方々に対してもテントシートの可能性や業界の成長性を広報し、組合員の採用機会の創出を後押しする。
組合活動の活性化	テントシートの普及や技術者育成に関連するイベントの企画・運営を通じて、組合員の参加、組織力強化を促す。 大阪万博の共同受注に向けた、組織の土壌づくりを図る。

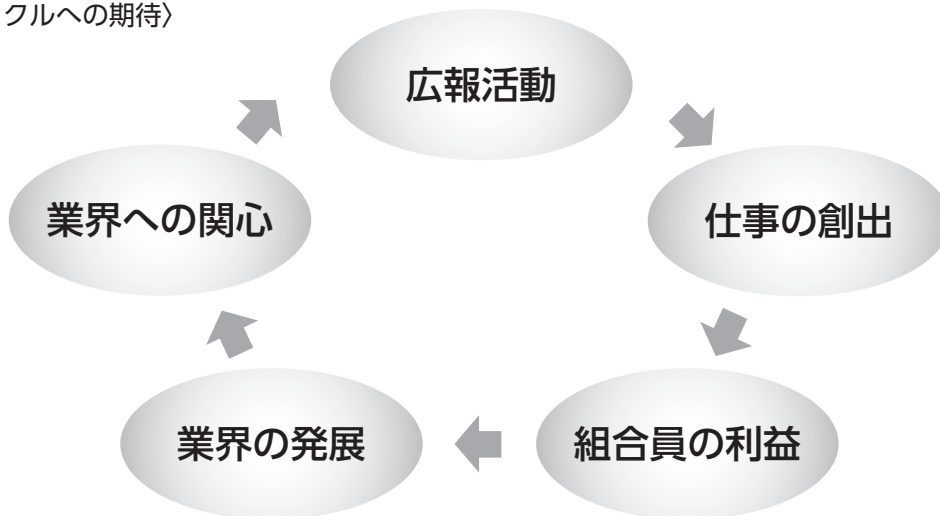
【当組合が向かう方向性】

〈方向性〉



組合等
事業向上
支援事業
関連情報

〈プラスサイクルへの期待〉



【組合ビジョン】

「既存のテントシートの概念をくつがえし快適・素敵な空間を日本全国に提供するチャレンジ精神と発想力ある経営者と世界基準の技術者が集まるプロ集団」
を目指します。

【ビジョンに込めた“想い”】

拡大基調にある市場機会に対応するために広報活動を強化して組合員の受注機会を高めること、それに対応出来る受注体制を構築するための技術者育成、および新たな市場機会を創出する製品開発を後押しします。